

表① ■環境省 HP 「毒ガス弾等とは何か ～旧日本軍製造の毒ガス兵器～

国内に遺棄されている可能性がある旧日本軍製造の毒ガス弾等には、次のような特徴があります。毒ガス弾等の形としては、砲弾のような形状のもの、毒ガス成分をビンに入れたもの、筒状のもの、壺形のもの、ボンベなどがありますが、腐食して原形をとどめないものもあります。発見される形態としては、工事現場などでの掘削工事で地中から発見されたり、漁船が底引き網で海底から引き揚げたりした事例が報告されています。

もし、「毒ガス弾」と思われる物を見つけたときは、絶対に手に触れず、すぐに警察署や消防署に通報してください。また「毒ガス弾」発見の可能性のある場所などについて記憶や情報をお持ちの方には、情報提供をお願いしています。

旧日本軍毒ガスの種類には次のようなものがあります

旧日本軍での名称	種類	化学物質	においの特徴	急性症状
きい剤	びらん剤	マスタード、 ルイサイト もしくは 両物質を 混合して使用	カラシ臭 ゼラニウム臭	マスタードは、皮膚に付着すると数時間後に赤い斑点を生じ痛みを伴うびらん症状を起こす。目や呼吸器の粘膜を冒し、水泡、潰瘍を生じる。ルイサイトは、マスタードより効果が現れるのが早く、皮膚に付着したり目に入ると耐え難い痛みを生じる。
あか剤	くしゃみ剤 (嘔吐剤)	ジフェニル シアノアルシン (DC)、 ジフェニル クロロアルシン (DA)	ニンニク臭 + アーモンド臭、 無臭	低濃度で鼻、喉、目の粘膜に激しい刺激を与え、くしゃみ、せき、前額部に痛みを感じる。高濃度では、呼吸器深部を冒し、嘔吐、呼吸困難、不安感を生じ死亡する例もある。
みどり剤	催涙剤	クロロアセト フェノン	りんご花臭	目や喉を刺激して激しい催涙効果を示す。死に至らしめることは、ほとんどなく、暴動の鎮圧用に配備されていた。
あお剤	窒息剤	ホスゲン	干し草臭	呼吸器系に作用して喉や気管支を刺激し、肺に障害を起こして死に至らしめる。
ちゃ剤	血液剤	青酸	アーモンド臭	体内に吸収された後、血液成分(ヘモグロビン)、全身の組織に作用して呼吸障害を起こし、睡眠を伴い死に至らしめる。
しろ剤	発煙剤	トリクロロ アルシン	刺激臭	高濃度では、目、皮膚、気道に対して腐食性を示し、この蒸気を直接吸入すると重症では肺水腫を起こす場合がある。

出典: 遺棄化学兵器の安全な破壊技術に向けて(日本学術会議報告 平成13年7月)
International Chemical Safety Cards (ICSC1989) 他